

## 第81回 原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 1996年11月19日(火) 10:30～

2. 場 所 委員会会議室

### 3. 議 題

- (1) 三菱原子燃料(株)東海製作所における核燃料物質の加工の事業の変更許可について(諮問)
- (2) 原子力バックエンド対策専門部会の審議の結果について
- (3) 解体核兵器処分専門家会合の結果について
- (4) その他

### 4. 審議事項

#### (1) 議事録の確認

第80回原子力委員会定例会議議事録(案)が了承された。

#### (2) 三菱原子燃料(株)東海製作所における核燃料物質の加工の事業の変更許可について(諮問)

平成8年11月7日付け(核規)第557号をもって内閣総理大臣から諮問を受けた標記の件について、科学技術庁より説明がされた、引き続き審議することとした。

注) 本件は、以下のような変更を行うものである。

- 1) 加工棟の成型施設、被覆施設及び貯蔵施設について、燃料設計の多様化に対応するため、取り扱うウランの最高濃縮度を3.5%から5%に変更する。
- 2) 附属建物の化学処理施設について、ウラン精製棟・分析室のウラン回収設備を削除する。
- 3) その他の加工施設について、除染設備を追加する。
- 4) 工場棟の成型施設の連続焼結炉の個数を変更する。
- 5) 放射性廃棄物の廃棄施設について、隣接する他事業所の使用施設の放射性固体廃棄物の処理を追加する。

#### (3) 原子力バックエンド対策専門部会の審議の結果について

平成8年11月15日(金)に開催される標記の件について、事務局より、原子力バックエンド対策専門部会における審議の概要、報告書案の概要及び報告書案に関する意見募集について報告があった。

これに対し、委員より、

- ・今後の研究開発の取り組みに当たっては、技術的な各論、全体の安全をどう考えていくかなど、従来とは違った大きな視点も大切。
- ・報告書案と第2次取りまとめの関係を明確化しておく必要がある。等の意見があった。

(4) 解体核兵器処分専門家会合の結果について

標記の件について、事務局より、余剰兵器級プルトニウムの処理処分の背景及び1996年10月28日(月)から3日間パリで開催された国際専門家会合の概要について報告があった。

以 上